

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校			
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	12件
○従業者評価実施期間	2025年10月14日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援による、ここへのアプローチにより、オーダーメイドでその子にあった支援をしている点。 それにより、お子様に合わせた成長がみられると思われます。	ケース会議で情報を共有し、その子の出来たを確認し、次にできることへの切り替えを日々行っております。	日々、的確に情報共有を行いながら、必要な支援方法を確認していき、さらに職員への研修から、職員のレベルアップを図っていきます。
2	専門知識の連携を図り、全国にあることを活かしながら、支援内容でのアドバイスなどを連携していける強みがあります。 それにより、より細かい支援に結び付けていくことが出来ます。	常にオンラインでも地域によってつながっている為、困ったところなどは、地域を超えて共有することが出来、成功例などを聞きながら、支援に結び付けることが出来ます。	実際に、そのシステムの活用法などをマニュアル化し、どの人でも使いやすい方法を考えていくことにより、みんなの知識の向上に努めていきます。
3	フィードバックに時間をかけることで、最近の様子を知ることが出来たり、こちらからの様子を共有することが出来ております。 それにより、より支援にむけての情報収集ができたり、視点の変化が出来るようになります。	フィードバックの際に、本日の様子や最近の様子を聞くことで、変わったことがないか、変化を見つけやすくなるため、それが支援に般化できるようにしています。	保護者様からも話をしてもらえるように、時間をしっかり守ってもらえるような声掛けを、貼りだしや呼びかけによって行っており、さらに安定できることを目指しております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎の空間の狭さに関しては、校舎上難しいところはありますが、最大限広く保てるような方法を支援内容によって対応させてもらっております。	大きな運動をするときには、狭く感じてしまうため、土地の問題はあります。	少人数の際は、大きく区切っているパーティションをどけたり、ホワイトボードをどけるなどで対応しております。
2	送迎が無い事での受け入れの難しさがありますが、保護者様に来ていただくことで、しっかりとお話が出来るように心がけております。	送迎が出来るような環境にないことから、利用をためらってしまう方やお休みになる方が見受けられます。	送迎がない分、フィードバックでしっかり保護者様とお話をさせていただきながら、支援への改善に努めてまいります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 14名（内2件きょうだい児）

回収数 12件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	1		ホームページや教室内に貼っておりますので、ご確認ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	0	0	4		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	1	4		必要に応じて、ペアトレを実施します。お時間がある保護者様は声をおかけください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	1	6		父母の層や保護者会については、外部をご案内させていただくようにしております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	4		定期的にホームページを更新しておりますので、是非ご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1		個人情報に関しては、鍵付きロッカーにて保管しております。最初に同意いただいた内容以外で使用することはありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	1	4		常に研修や訓練を実施しております。掲示板やブログにありますので、ご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	1	5		常に研修や訓練を実施しております。掲示板やブログにありますので、ご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	4		事故等発生時は、些細なことでも共有させていただいております。無い場合は、報告が起らないことが多いと思われます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法律に遵守しながら、決められたスペースで実施しております。またどの位置からでもホワイトボードが使用できるようにしています。	運動をする際には、十分広くはないため、出来るだけものをどかしながら対応する必要があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		どの時間帯においても、利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用時の状態によって個室、パーテーションを使うなど取り組んでいます。車椅子利用の方は台などを使用して上がりやすくさせています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除や、毎時間の消毒などにより、安心して利用できるように調整しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状態に合わせて、個室やパーテーションで対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		各々での振り返りが出来るように、週1回の報告で情報整理を行いながらしております。必要などころは情報共有をするようにしています。	職員によってばらつきは見られます。そこに関しては、確認しながら修正を行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年欠かさず公表を行っています。また頂いた意見は、株式会社クラ・ゼミとして共有し、改善しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		⑥と同様。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の外部評価ではありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。また、会社内部評価の元、健全な運営を行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1度の地域研修、職員レベル別の社内研修などを行っております。また、発達支援研究所に研修を依頼し、知識面・技能面の専門的な発達に関する研修を行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		現在公表システムを整えております。	来年度に向けて作成してありますので、整齐的次第公表いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関して、フィードバックをする時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事業所内でのケース会議を行い、指導員だけでなく、事業所として利用者様の個別支援計画書を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		⑫と同様。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		⑫と同様。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		初回面談時、受付シート等で行っております。また、年1回の振り返りもアセスメントシートを用い行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		⑫と同様。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケース会議、事業所内ミーティング、支援記録の振り返りなどを通して確認し、必要によっては、個別支援計画の再設定を行っております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		㊦と同様。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		きらり広場を実施することで、主に個別の活動から、集団の様子がみられるように取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で情報共有できる時間を作っています。	打合せ時間ができない時もあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		㊧と同様。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		株式会社クラ・ゼミとして、内部監査を毎年行い、セルフチェックをしています。また、月末に必ずセルフチェックを行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		㊧と同様。 また、担当制を導入し、細かな変化に気が付ける体制を整えています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		㊦と同様。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		自分で取り組む内容を決めたりと、自己決定をする支援も導入しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当職員が参加しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		積極的に、学校、関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換をしています。また、常に見学可能としており、当事業所での様子が知れるようにしております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所単位では行っていないため、交流できる場を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		㊧と同様。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方などアドバイスさせていただいております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		初回の契約時に、利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、校舎入り口いつでも見られるように説明出来るファイルを設置しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談の時に話を聞いたり、フィードバックの際に最近の様子など確認しながら反映させております。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書のサインを頂くときに、読んでいただいてサインをもらうようにしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援の面談として、必要に応じて行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		他に実施しているところへ案内するなどを行っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談申し入れにつきまして、営業時間帯いつでも対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式ラインサービス・当社ホームページを活用し、事業所イベントの告知を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカーを必ず使用し、社内研修にて、職員の意識の向上を図っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様、保護者様一人ひとりに「寄り添う」スタンスのもと支援をさせていただき、困り感を聞けるよう常に心掛けております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		いつでも開かれている校舎であるため、声掛けがあれば、いつでも見学できます。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月、防災訓練を実施しております。また年間でスケジュールを組み、年2回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		㊿と同様。 また、BCPの見直しも年1回最低でも行うようにしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		最初の契約時など、服薬状況の確認を行いながら、都度追加されたものなどを聞いております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認の他、定期的なアンケートにて把握しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全確保計画を策定し、訓練を毎月行いながら、必要に応じて改善を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		必要に応じて確認しながら、改善や確認を行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		兵庫、中国、四国、九州でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、市主催の研修を初め、社内でも独自の研修、ストレスチェックをしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		運営規定や身体拘束についても、重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。	